国土交通大臣表彰
手づくり郷土賞大賞部門認定

ふりかえれば未来

進化する港と共に創り上げた清水港の風景づくり

「清水港・みなと色彩計画」

Port of Shimizu Color Hamonization Plan

清水港・みなと色彩計画推進協議会

https://www.shimizukou-shikisai.net/index.html

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

「私たちは持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています」

清水港・みなと色彩計画　世界に誇る清水港の風景

清水港全景

日本三大美港の一つである清水港は、戦後、日本の経済成長を支えた重厚長大産業の舞台として栄えてきましたが、その一方で市民にとって近寄りがたい港に変わっていきました。

そこで、20代～60代の女性23名で構成された「レディズ・マリン・フォーラム」から、港湾空間に生活機能を取り戻すことを目的に提言が行われ、この提言のもと、清水港・みなと色彩計画策定委員会により、平成3年（1992年）に富士山と調和した港湾の活力を目指した「清水港・みなと色彩計画」が策定されました。

この取組みは、四半世紀余りにわたり港湾関連事業者、国・県・市の行政、市民がそれぞれの立場で役割を果たしながら「美しいみなとづくり」を共通の目標とする「共創」により進められ、新たな共有資産としての「景観」という付加価値を形成しました。

また、美しい清水港のビジョンに共感し、参画し、共振する活動は、※シビックプライドを育み、「共創」の規範を熟成させてまいりました。

現在は、洗練された世界遺産富士山・三保松原を有する美しいみなととして、国内外の観光客から高い評価を受けています。

さらに、この主体的な取組みは、これからの国土マネージメントのひとつの在り方として、先駆的な事例と注目を集め、景観法の制定に寄与し、国土交通大臣認定「手づくり郷土賞」の大賞をはじめ多くの表彰に輝きました。

この共創の取組みは、産学官の交流と共に市民への啓発・人材育成によるSDGs（持続可能な開発目標）の実現モデルともいえます。

※　シビックプライド：「都市に対する市民の誇り」である。「ここをよりよい場所にするために自分自身がかかわっている」という、当事者意識に基づく自負心を意味している。

活動の仕組み

色彩計画の基本方針

1. 快適性（アメニティ）を高める色彩計画とする
　　住む人々・働く人々・訪れる人々にとって快適な港湾空間をつくる
2. 活力を高める色彩計画とする
3. 個性（アイデンティティ）を高める色彩計画とする

色彩計画の取組みは地域総力を挙げ多くの景観課題を乗り越え共感する風景づくりに

風景の変遷　清水らしさを風景に求め続けて　清水港から全国・国外へ波及

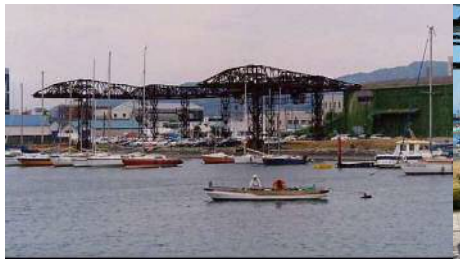
● 興津埠頭ガントリークレーン

航空法に基づく高度制限により、一般的にガントリークレーンや煙突には昼間障害標識（赤白塗装）が義務付けられます。清水港の景観形成においてもこの制限が大きな障害となっていましたが、規制解除の条件を満たすために、立地の検証・住民の合意形成・条例の整備等、事業者に負担をいただきながら、ひとつひとつ乗り越えてきました。
富士山を借景にしたガントリークレーンが赤白であったら、現在の清水港の風景はありません。

● 三保地区における煙突

塗替えや地域要望によるライトアップがなされ、昼夜ともに清水港の景観を牽引してきた煙突も、その多くは役目が終わり撤去されました。時代とともに変わりゆく工場・タンク等の港湾機能にあわせ、配色デザイン・レイアウト・緑化等を実施し、清水港の景観を形成しています。

● 日の出地区ウォーターフロント



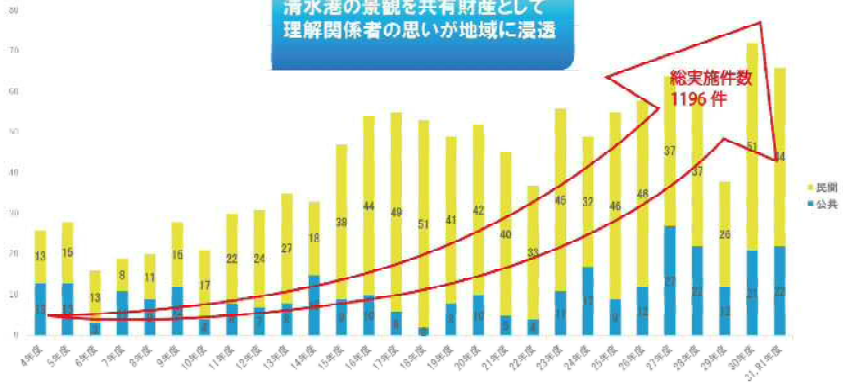
かつて人が立ち寄ることのできなかった日の出地区は開港 100 周年を目指し再開発事業が行われ、年間 450 万人が訪れるエスパルスドリームプラザを拠点に、ウォーターフロントの整備が行われました。憩いの場である親水公園が整備されたことで、対岸に位置する三保の工場群についても色彩のみならず、適切な看板の整備や緑化等により、うるおいのある風景づくりに取組みました。
市民・来訪者にとってより良い風景づくりへと取組んだ賜物です。このような視点から、清水港の風景をご覧ください。

実施案件変遷にみる共感意識

協力しやすい計画と推進体制の評価・改善
風景づくりへの参加と共有

公共	310
民間	886
合計	1196

清水港の景観を共有財産として
理解関係者の思いが地域に浸透



計画当初はガントリークレーン、上屋等の公共施設の塗替えにより、周辺事業者へ「美しさ」のインパクトを与えました。開港 100 周年以降から、民間事業者の協力件数が増加しているのは、風景づくりへの参加を求めるために、協力しやすい計画・推進体制へと改善したことによるものです。

清水港・みなと色彩計画の価値波及

協働　産学官民の取組み
継続　四半世紀余の長年の積み重ね
注目　世界に誇れる風景づくりは日本各地海外の港のモデル

協働・継続・注目が相乗効果

港湾景観モデルの価値創出

今、その価値は日本全国や海外へ「波及」

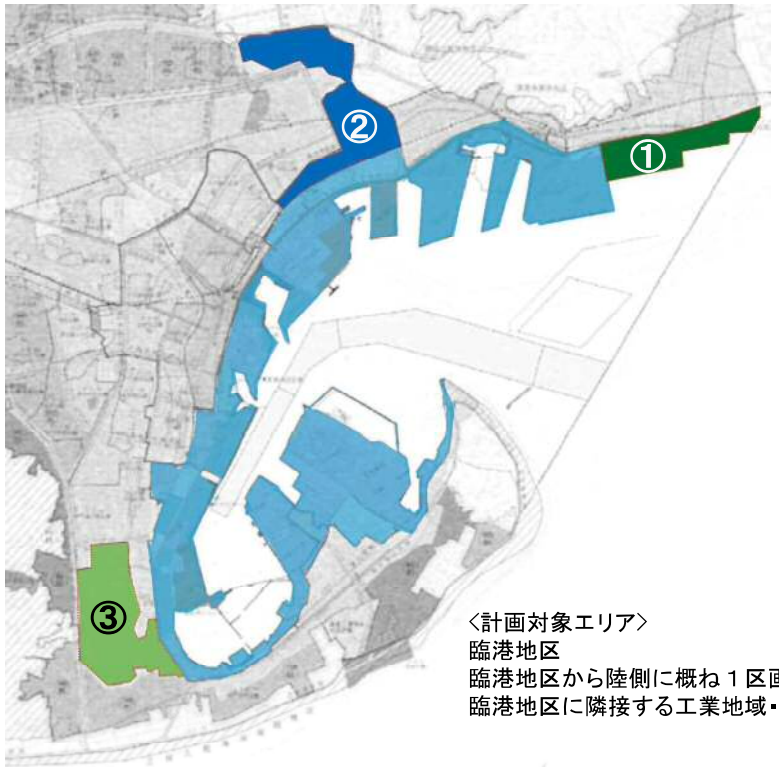
計画対象エリア

清水港の風景づくり「清水港・みなと色彩計画」は、臨港地区を中心とした、港湾関連事業者との共創の取組みにより、令和３年には開始から30年目を迎えます。今後も清水港は、美しさとスマートさを兼ね備えた、「スマート・ガーデンポート」を目指し、時代とともに進化していきます。

清水港周辺には、静岡市観光交流客数（25,924,578人/年）の約55％（14,206,955人/年）が訪れており、クルーズ寄港による日の出地区への来場者数は127,873人/年にのぼるなど、集客による賑わいをみせています。[各数値は平成30年度実績]

加えて、日本平や周辺の地域観光資源との周遊観光、新東名高速道路・中部横断自動車道・国道１号静清バイパス等の整備によるアクセス性の向上により、更なる清水港への来客が見込まれます。

このことから、これまで取り組んできた臨港地区だけでなく、清水港を望む景観の一部となるエリアを計画の対象とすることで、住む人、働く人、訪れる人にとってより一層快適で魅力的な空間づくりを目指します。



〈計画対象エリア〉
臨港地区
臨港地区から陸側に概ね１区画までの区域
臨港地区に隣接する工業地域・準工業地域

＝新規対象エリア＝

① 臨港地区内「新興津なぎさ地区」

新興津埠頭の東側に海釣り公園、人工海浜等の整備が予定されており、新たな賑わいの拠点となることが見込まれる地区

■ カラーパレットを新たに設定

② 清水港に向かうシークエンス景観形成地区

新東名高速道路、中部横断自動車道・国道１号静清バイパス等、清水港へのアクセス路である、沿道周辺のシークエンス景観の形成を図る地区

■ 「静岡市景観計画」の工業系市街地ゾーンに適応

③ 日本平山頂からの清水港景観形成地区

日本平山頂から清水港を望む時の景観の一部となる地区

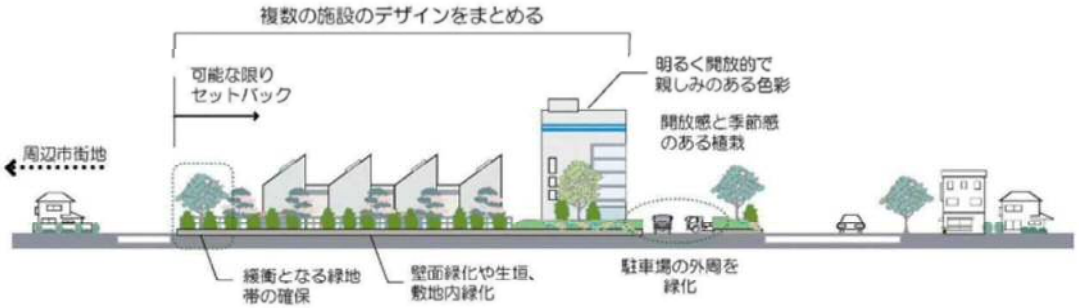
■ 「静岡市景観計画」の工業系市街地ゾーンに適応

- 静岡市景観条例において、届出の対象としている大規模建築物等に該当する場合は、別途景観基準を遵守する必要があります。この機会を捉え、市景観担当課と密に情報共有を図りつつ、美しいみなとまちづくりを進めます。
- ②、③の地域は、上記の大規模建築物等を清水港・みなと色彩計画の対象としています。このため、一般的な規模の住宅等は対象とはなりません。

日本平桜通りから清水港の眺望

清水港へのアクセス
（国道１号静清バイパス）

新東名高速道路方面から
清水港の眺望

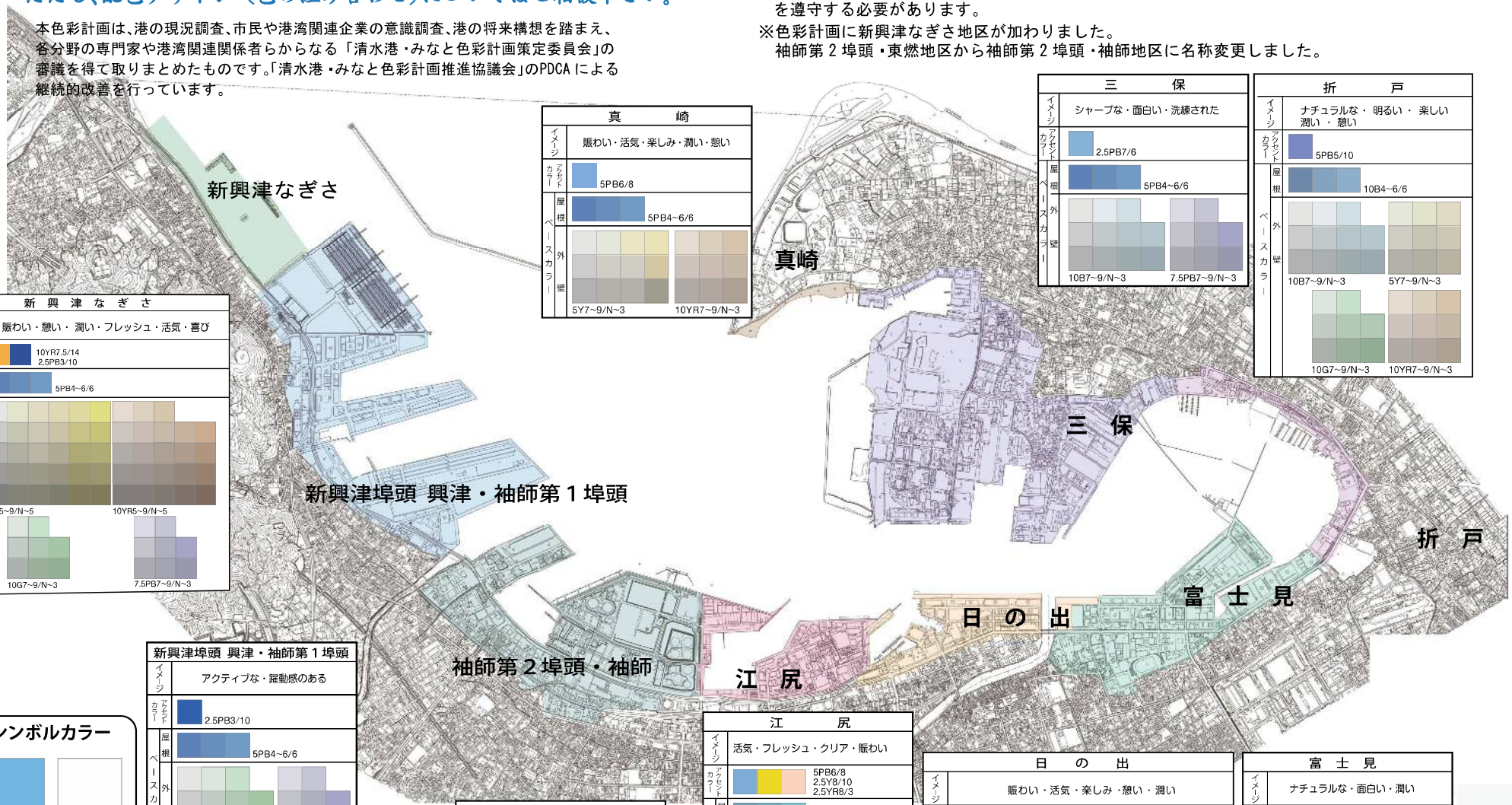


各地区の配色計画

アクセントカラーとベースカラーは、表の中から選択して下さい。
ただし、配色デザイン（色の組み合わせ）についてはご相談下さい。

本色彩計画は、港の現況調査、市民や港湾関連企業の意識調査、港の将来構想を踏まえ、各分野の専門家や港湾関連関係者らからなる「清水港・みなと色彩計画策定委員会」の審議を得て取りまとめたものです。「清水港・みなと色彩計画推進協議会」のPDCAによる継続的改善を行っています。

※清水港（臨港地区周辺約500ヘクタール）の全ての建築物、工作物、ソーラ-パネルを対象とします。
※静岡市景観条例において、届け出の対象としている大規模建築物等に該当する場合は、別途景観形成基準を遵守する必要があります。
※色彩計画に新興津なぎさ地区が加わりました。
袖師第２埠頭・東燃地区から袖師第２埠頭・袖師地区に名称変更しました。



新興津なぎさ

イメージ	賑わい・憩い・ 潤い・フレッシュ・活気・喜び
アクセントカラー	10YR7.5/14 2.5PB3/10
ベースカラー 屋根	5PB4~6/6
ベースカラー 外壁	5Y5~9/N~5 10YR5~9/N~5 10G7~9/N~3 7.5PB7~9/N~3

真崎

イメージ	賑わい・活気・楽しみ・潤い・憩い
アクセントカラー	5PB6/8
ベースカラー 屋根	5PB4~6/6
ベースカラー 外壁	5Y7~9/N~3 10YR7~9/N~3

三保

イメージ	シャープな・面白い・洗練された
アクセントカラー	2.5PB7/6
ベースカラー 屋根	5PB4~6/6
ベースカラー 外壁	10B7~9/N~3 7.5PB7~9/N~3

折戸

イメージ	ナチュラルな・ 明るい・ 楽しい 潤い ・ 憩い
アクセントカラー	5PB5/10
ベースカラー 屋根	10B4~6/6
ベースカラー 外壁	10B7~9/N~3 5Y7~9/N~3 10G7~9/N~3 10YR7~9/N~3

新興津埠頭 興津・袖師第１埠頭

イメージ	アクティブな・躍動感のある
アクセントカラー	2.5PB3/10
ベースカラー 屋根	5PB4~6/6
ベースカラー 外壁	10G7~9/N~3 7.5PB7~9/N~3

袖師第２埠頭・袖師

イメージ	シャープな・メカニックな
アクセントカラー	2.5PB4/10
ベースカラー 屋根	10B4~6/6
ベースカラー 外壁	10G7~9/N~3 10B7~9/N~3

江尻

イメージ	活気・フレッシュ・クリア・賑わい
アクセントカラー	5PB6/8 2.5Y8/10 2.5YR6/3
ベースカラー 屋根	5B4~6/6
ベースカラー 外壁	2.5GY7~9/N~3 5Y7~9/N~3 10G7~9/N~3 10YR7~9/N~3

日の出

イメージ	賑わい・活気・楽しみ・憩い・潤い
アクセントカラー	2.5PB7/6 2.5YR8/3
ベースカラー 屋根	10G4~6/6
ベースカラー 外壁	5Y5~9/N~5 10YR5~9/N~5

富士見

イメージ	ナチュラルな・面白い・潤い
アクセントカラー	2.5PB3/10
ベースカラー 屋根	5B4~6/6
ベースカラー 外壁	2.5GY7~9/N~3 10GY7~9/N~3

シンボルカラー

10B7/8　N9.5

ご遠慮いただきたい色

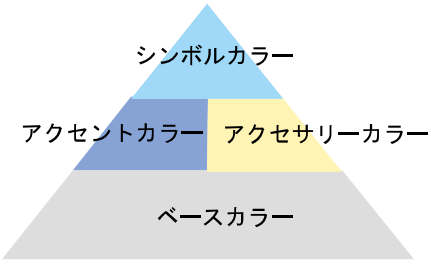
＜例＞ 5R4/14　5P4/4　5GY7/10　N2

鮮やかな色（彩度10以上）や暗い色（明度２以下）の使用は極力避けてください。使用予定のある場合には、事務局にご相談の上、できるだけ小さな部位のみご使用ください。

配色構成とデザイン

配色の方針

清水港を地域の特性に応じて景観上まとまりをもつ
9つのゾーンに分け各ゾーンの特徴を活かすような配色を
設定しています。



シンボルカラー
清水港全域を代表する色。リードカラーとしてサイン計画やイベント等、臨港地区内にある施設には、どこか必ず使用していただきたい色

ベースカラー
屋根や壁面等、広い面積をもち、面的に使用される色

アクセントカラー
配色全体の中で線的、点的に使用し、アクセントの役割をもつ色で、デザイン性を高める色

アクセサリーカラー
企業のCIカラー(※1)アクセントカラーとともにできる限り最小限の部位に線的、点的に使用する色

※1 CIカラーはCorporate Identity Colorの略であり、企業や団体の組織を象徴する色

事例

清水港のシンボルカラー

10B7/8 (※2)　N9.5

清水港のシンボルカラーはアクアブルー（10B7/8）ホワイト（N9.5）です。
色彩計画策定時の調査では、「清水港のカラー」はブルー系、「将来の清水港に求めるイメージ」は国際海洋文化都市として「刷新した、真新しい港」を希求するが8割を占めています。
このことから、ブルーの中から「刷新、真新しい」と言う意味をもつアクアブルー（10B7/8）を抽出しています。色彩は地域のイメージを牽引する効果があり、シンボルカラーに設定しました。
計画策定から10年後の企業・市民アンケート調査からは清水港は「明るい、清潔感」と評価されています。現在は清水区のカラーに選定されています。

10B 7/8（色相 明度 彩度）　N 9.5（無彩色 明度）

※2　マンセル値とは、色を3つの属性（色相・明度・彩度）に分けて数値表現したカラーシステム

清水港の港湾、景観のシンボル的構造・工作物はシンボルカラーのみで配色デザイン

その他の施設はシンボルカラーを視認性の高いところに設置

屋根色はベースカラー

清水港の周辺には日本平、船越堤、薩埵峠等の眺望地点が存在することから、本計画では屋根色をベースカラーに位置づけています。既にマリンビルの屋根が銅板でありエメラルドグリーンを日の出地区の屋根色と設定し、駿河湾の海色に融和するグラデーションによる配色計画により風景に厚みを加えています。

ソーラパネルの色は濃紺色

全国的にメガソーラパネルの建設が行なわれ、地域景観との調和が課題になっています。
メガソーラーパネルの主流は黒色パネルです。黒色は海景を壊します。
清水港では、清水港・みなと色彩計画で築いてきた清水港の風景を守るため、地元企業の主体的な取組みにより、濃紺色のパネル開発がされで清水港エリアのソーラパネルは全て濃紺色で建設され、共創の風景を守ることができました。
また、眺望地点からのパネルのレイアウト、緑化による景観配慮等が行なわれています。

清水港の産業機能、活躍する立地企業の個性を重んじ、尊重しながら、清水港特有の自然景観との共生を目指した清水港の風景づくりです。
ガントリークレーン、タンク、ベルトコンベアー等ひとつとして同じ配色デザインはありません。ひとつひとつは個性的でありながら、全体として調和（ハーモニー）を求め色彩、デザイン等を駆使し「清水港らしさ」を美しさに求めた秩序だてによる風景づくりです。
遠景・中景・近景、様々な場から見て、発見、堪能して下さい。

共に創る風景づくりの届け出

新・増・改築・塗り替え等が予定・実施される場合
協議会事務局へ事前相談・届け出をお願いします。

事業者は事務局に問合せ
事務局と事前相談

↓

事業者は協議書を提出

↓

色彩相談会
事業者は色彩計画推進協議会と協議
助言・指導 ※1

↓

事業者案がある場合
地区別色彩計画及び
周辺環境を現地調査し
アドバイスします

事業者案がない場合
事業者の意向を把握、
現地調査し、配色デザインを
提案します ※2

↓

事業者は配色デザイン計画の決定

↓

事務局は確認書を作成・発行

↓

実　施 ※3

↓

完　成

↓

事業者は実施完了報告として
施工前・施工後写真を事務局へ提出をお願いします

※1　色見本・施工材料のサンプル等の確認をします。
※2　CG（コンピュータグラフィック）シミュレーションにより施工物の配色デザインイメージを提供します。
※3　必要に応じて、施工状況を確認することがあります。
※　定例色彩相談会は月に1回開催されます。また、適宜別途相談会を設けます。
※　施工実績を色彩計画推進協議会ホームページに公開し美しいみなとづくりへの貢献を周知します。
※　事業者には清水港美しいみなとづくり感謝状、貢献ステッカーを配布します。
※　毎年度事業報告書を作成し30年間の蓄積を記録します。

色彩相談会

現地調査

海上視察

測色

施工現場確認

清水港・みなと色彩計画推進協議会

平成４年９月に学識経験者、港湾関連企業、市民代表、国・県・市の行政機関メンバーにより美しいみなとづくりを推進する組織として発足しています。本協議会のなかにはアドバイザー会議が編成されています。そこでは事業申請者からの相談に柔軟なきめ細かい対応や、本計画の普及啓発に向けた情報発信や事業者、市民、国内外観光客等の港湾ユーザーを対象にしたアンケート調査等によりPDCA によるプロジェクトマネージメントを行なっています。

推進協議会（14 名）

アドバイザー会議（16 名）

色彩セミナー

1000 件記念式

感謝状授与

地域貢献ステッカーを
貼った建屋

事例報告書

清水港・みなと色彩計画受賞歴

清水港の景観を共有財産とした、参画型地域づくりの取組みを評価していただきました

平成 11 年度	全建賞大賞
	静岡県景観賞受賞
平成 12 年度	清水市景観賞受賞
平成 13 年度	中部未来創造大賞（国土マネージメント大賞）
平成 14 年度	水辺ユニバーサルデザイン賞受賞
平成 18 年度	国土交通大臣表彰「手づくり郷土賞（地方部門）受賞
平成 23 年度	国土交通省中部地方整備局長賞受賞
	国土交通省地域づくり表彰（全国地域づくり推進協議会会長賞）受賞
平成 26 年度	土木学会市民普請入賞
平成 27 年度	社）日本港湾協会企画賞受賞
	国土交通大臣認定「手づくり郷土賞（大賞部門）

共創の風景づくりに参画した事業者

(有)B.SIDE建築設計室
(株)C.L.L設計事務所
JA静岡経済連
JA東日本くみあい飼料(株)
ＪＦＥエンジニアリング(株)
(株)Ｊ－ウイズ
JXTGエネルギー(株)
(株)J-オイルミルズ
KDDI(株)
(株)NTTドコモ
Wireless City Plannig(株)
(株)アイ・テック
(株)アイワ不動産
アオキトランス(株)
(株)浅沼組名古屋支店
朝日エティック(株)
(株)朝日建装
池ヶ谷一級建築士事務所
出光興産(株)
(株)伊藤鐵工所
エスパック(株)
(株)エスパルス
(株)エスパルスドリームフェリー
(株)エスワイプロモーション
(株)エンチョー
(有)オートスポーツ原始人
(株)オートテックサービス
(株)尾下設計
(株)カナサシ重工
カメイ(株)
公南建設(株)
(株)ココスジャパン
(株)サニーメイズ
(株)サンフジ企画
(株)サンヨー・パブリシティー
(株)シーキュー・アメニック
静岡県産業イノベーション推進課
静岡県土地区画整理組合連合会
静岡ビルサービス(株)
しずてつジャストライン(株)
清水建築設計事務所
信建工業(株)
(株)スズキビジネス住宅事業部
鈴与ホームパル(株)
住友大阪セメント(株)
静清信用金庫
セントラルガス(株)
髙橋建設(株)
中部電力(株)静岡火力センター
東亜レジン(株)
東洋建設(株)
(株)トーエネック
トライ産業(株)
(株)ドリームプラザ
(株)内藤ハウス
日栄建設(株)
(株)ニチレイ・ロジスティクス東海
日軽産業(株)
(株)日交東海本社
日本コムシス(株)
はごろもフーズ(株)
針谷建築設計事務所
(株)バンノウ水産
(株)ピコーインプレス
(株)ファミリーマート
富士山羽衣マリーナ(株)
フジ日本製糖(株)
フジ物産(株)
(株)不動テトラ
牧野一級建築士事務所
(株)マルハン
三井・ケマーズフロロプロダクツ(株)
三菱マテリアルテクノ(株)
(株)ミライト
(株)もちひこ
ヤマダユニア(株)
ヤマダ電機(株)
(株)ユタカケミカル
吉永一級建築士事務所
(株)ローソン
旭興産(株)
(株)杏林堂薬局
海上保安庁静岡航路標識事務所
学校法人　東海大学
(独)環境再生保全機構
(株)関西商事
公益社団法人 静岡県建築士会
江尻接済会診療所
港トラック運送(株)
合同酒精(株)
国土交通省航空局　航空灯火・電気技術室
国土交通省清水港湾事務所
国土交通省静岡営繕事務所
国土交通省静岡国道事務所
国土交通省中部地方整備局
国立学校法人　東京海洋大学
国立清水海上技術短期大学校
三井物産プラントシステム(株)
三星海運(株)
三保マリーナ
(株)三保造船所
昭和冷凍(株)
松城(株)
新興港運(株)
新生産業(株)
(株)数理計画
清水エル・エヌ・ジー(株)
清水コンテナターミナル(株)
清水ボートサービス(株)
清水リサイクルネット(株)
清水駅東口駐車場及び自転車等駐車場管理運営企業体
清水海上保安部
清水魚(株)
清水魚市場　河岸の市
(株)清水銀行
清水警察署
清水港管理局　管理課
清水港管理局　企画整備課
清水港管理局　総務課
清水港飼料(株)
清水港上屋利用組合
清水港振興(株)
清水港木材産業協同組合
(一財)清水港湾福利厚生協会
清水港湾労働者福祉センター
清水三保の家
(公社)清水清港会
清水倉庫(株)
清水埠頭(株)
清和海運(株)
青山商事(株)
静岡ガス(株)
(株)静岡銀行
静岡県営繕工事課
(財)静岡県下水道公社
(一社)静岡県建設コンサルタンツ協会
(一社)静岡県建設業協会
(公社)静岡県建築士会
(公社)静岡県建築士会　静岡支部
(一社)静岡県建築士事務所協会
静岡県静岡土木事務所
(一社)静岡県設備協会
(一社)静岡県設備設計協会
(公社)静岡県宅地建物取引業協会
(一社)静岡県地質調査業協会
(一社)静岡県土木施工管理技士会
静岡公営企業管理者
静岡市　スポーツ振興課
静岡市　海洋文化都市推進本部
静岡市　環境創造課
静岡市　観光・MICE推進課
静岡市　建築指導課
静岡市　交通政策課
静岡市　産業政策課
静岡市　商業労政課
静岡市　清水駅周辺整備課
静岡市　清水区地域総務課
静岡市　清水道路整備課
静岡市　生活安心安全課
静岡市　都市計画課
静岡市　道路保全課
静岡市社会福祉協議会
静岡信用金庫
静岡鉄道(株)
静岡日産自動車(株)
太平洋セメント(株)
大和ハウス工業(株)
第一倉庫(株)
中山三星建材(株)
中日本高速道路(株)
中部電力(株)工務技術センター
中部電力(株)静岡支店
中部電力(株)静岡電力センター
(株)天野回漕店
渡辺製氷冷蔵(株)
東海アセチレン(株)
(有)東海三重塗装工業
東海埠頭(株)
(株)東洋信号通信社
東洋製罐(株)
東洋冷蔵(株)
東溶運輸(株)
日新興業(株)
日東富士運輸(株)
日東富士製粉(株)
(一社)日本ツーバイフォー建築協会
(一社)日本ツーバイフォー建築協会静岡県支部
日本軽金属(株)
(公社)日本建築家協会 東海支部静岡地域会
日本水産(株)
(一社)日本補償コンサルタント協会中部支部
日本無線(株)
柏栄トランス(株)
柏興業(株)
(株)富士ロジ・オペレーションシステム
(株)富士ロジテック
富士化工(株)
(株)福島製材所
米久(株)
名古屋植物防疫所清水支所
名古屋税関清水税関支署
鈴与(株)
鈴与カーゴネット(株)
鈴与ホールディングス(株)
鈴与液体物流サービス(株)
鈴与興産(株)
鈴与建設(株)
鈴与自動車運送(株)
鈴与商事(株)
浪漫館管理組合
和信化学工業(株)

（敬称略）
（令和２年３月末現在）